

書ける! 研究者になるための 論文講座 (3回シリーズ)

研究者の評価は、業績、すなわち、専門誌に掲載された論文の質と量で決まるのは周知の事実です。業績評価においては、国際的専門誌に掲載された論文に重点が置かれるので、論文を英文で書くことが必要になります。しかし、そのような能力は、セミナーに何度か出席したくらいで達成できる程簡単には身につかないので、当面は指導教官等の諸先輩や翻訳業者、Native Speakerの助けを借りて研鑽を積むしかないでしょう。この段階においては、**英文作成能力よりも、日本語で投稿論文の内容を論理的かつ必要十分に説明する能力の方が重要**です。正確な日本語で過不足なく書かれた文章は翻訳の専門家やAIの助けを借りて立派な英文に仕上がるからです。

論文の質は、その中身であるScienceとデータで決まります。従って、若い研究者の目指すべきは、自らの**Scientistとしての資質を高める努力を続ける中で英語力も身につける**ということになります。

論文を書ける研究者になるために、3回シリーズの論文講座を開催します。



講座概要

第1回目 11月10日 (金) 14:00~15:00

**論文アクセプトのために知っておきたい
パラグラフの解剖学**

講演者：布施 雄士先生 (生物/医学系翻訳家・ライター)

第2回目 11月17日 (金) 14:00~15:00

**Peer Reviewを乗り越えるには、
先ずScientistとしての資質を高めよ①**

講演者：川島 博行先生 (メディカルライター)

第3回目 11月24日 (金) 14:00~15:00

**Peer Reviewを乗り越えるには、
先ずScientistとしての資質を高めよ②**

講演者：川島 博行先生 (メディカルライター)

お問合せ：

大阪大学微生物病研究所企画広報推進室
(内線：4262)

biken-info@biken.osaka-u.ac.jp

お申込みフォーム

<https://forms.office.com/r/v8FKFWCeL5>

